

平成29年5月議会報告・意見交換会における意見・要望等への対応

会場等	意見・要望	調査結果
天童南部	<p>市の美術館、図書館の前には壁があり池もあり滝も流れていたが、今では滝は流れていない。</p> <p>武雄市ではツタヤが管理し賑わったと言われているが、賛否両論あるようだ。今後の運営の方法はどうなるのか。</p>	<p>壁泉（滝）の揚水ポンプが、設置から25年経過し、経年劣化のため3年ほど前に故障しました。水道設備業者に見てもらったところ、ポンプの交換が必要とのことでした。このポンプが設置されているポンプ室は、壁泉の反対側に植栽された土盛りがあり、この土盛りの中に埋め込まれた状態です。ポンプはポンプ室の扉からは出し入れできず、既存のポンプを解体し搬出、新しいポンプを分解搬入し組み立てる必要があります。見積額で2,500千円ほどかかります。美術館に係る予算措置の際、緊急性、優先度合いの高い工事から行ってきた結果、ここ2年ほど先送りとなっていた状態でした。</p> <p>現在も修繕計画の中に当該工事は入っていることから、今後必要になるその他工事との緊急性、優先度合いに配慮し、計画的に改修を行っていきます。</p> <p>佐賀県武雄市や神奈川県海老名市、宮城県多賀城市などの市立図書館において、民間の事業者を指定管理者にして、管理・運営を委託し、入館者数や利用者数、貸出冊数が大幅に増加し、地域の活性化や利用者のサービス向上に大きく寄与しているようです。しかしながら、一方で、施設整備費や運営経費の大幅な増大、選書の問題、郷土資料の不足などの課題も懸念されているようです。</p> <p>天童市立図書館では、こうした図書館の利用者に対するサービスなどを参考にするとともに、指定管理者と連携を図りながら、公立図書館に相応しい資料の充実や相談業</p>

		<p>務の充実、魅力的な子どもの読書推進事業の実施などにより、より一層特色のある図書館づくりと利用者の拡大に努めていく考えです。</p>
蔵増	<p>予算審議は細かいところまでやっているのか。また、事後のチェックをしているのか。例えば、天童インターチェンジ工業団地に調整池が3つあるが、流入口がない。出来上がったものをチェックしているのか。</p>	<p>3つの調整池は各々の機能が異なり、全体で調整池機能を果たすよう設計されています。</p> <p>真ん中の調整池1は、地表の勾配を利用して区域内の雨水が流入するようになっており、したがって流入口が1つあります。</p> <p>雨水の流入によって調整池1の水位が上がると、地下の導管を通して南側の調整池2に流れ込み雨水を溜め込むようになっています。この2つの調整池をあわせて本来の調整池機能となります。</p> <p>北側の調整池3は、雨水を河川へ放流するための水路であり、調整池1と導管でつながり、溜め込まれた雨水を倉津川へ樋管で放流するようになっています。</p>
高撤	<p>側溝について 市に確認したら、できないとの事だが。</p>	<p>当該側溝は、水田の落ち水が宅地の間を流れるようになっているが、手前の分水するところで止水板により水の流入が制限されているため澱みとなっており、加えて草木が繁り蚊の発生源になっているとのことです。</p> <p>これら法定外水路の維持管理は地元の利害調整のうえで行うしかなく、町内会に対応をお願いしたものです。</p>

長岡	<p>舞鶴山の景観は良くなった。文学の碑は市政施行45周年記念事業になっている。いつ完成するのか。</p> <p>議員も忘れていないのか。</p>	<p>舞鶴山の文学の森整備事業は、平成7～14年度に園路や広場、あずまややトイレが整備され、平成15年度に市制施行45周年記念事業として、イザベラ・バードの文学碑が建立されました。</p> <p>他の田山花袋・志賀直哉の文学碑はこの後に民間の賛同される方々の寄付により建立されたものです。</p> <p>田宮虎彦の文学碑は、平成20年度に文化団体協議会が志賀直哉碑とともに整備する計画となっていましたが、その作品「笛」は、天童に住んだことのある女性の聞き書で、田宮自身は天童と何ら関係なく、そのため寄付も集まらず建立が断念されたままになっております。</p>
----	---	---